

令和6年度の取組実績

【(i) 福島大学 吉田樹教授、(ii) (株)博報堂】

- 第1回地域交通スキルアップセミナー (8/28、南相馬市) (ii)
- 公共交通リ・デザイン 1dayインターンシップ (10/23、いわき市) . . . (i)
- 公共交通リ・デザイン 1dayインターンシップ (1/17、会津若松市) . . . (i)
- 第2回地域交通スキルアップセミナー (1/20、浪江町) (ii)

【成果物】 (i) 公共交通で地域を良くするための考え方を学ぶ e-ラーニング教材 (別紙参照)

(ii) 公共交通計画に関する e-learning (○ x) <https://forms.office.com/r/Kz4PQBrKyE>

令和7年度の取組の方向性

【会津圏域公共交通活性化協議会】

- 地域公共交通計画及び利便増進実施計画 (以下、計画) の実行性を高めるため、圏域公共交通を支える関係者 (自治体の管理職、担当者、交通事業者) が共通理解・認識に立てるよう、**制度や交通に関する知見をいま一度習得**できるような講義・ワークショップ・フィールドワークを実施
- 実際のモビリティデータ (ICカード、デマンド、人流データ等) を活用し、**データ処理、集計、分析等の実践的なスキルを学ぶ**ことにより、計画のアップデートに必要な知識を習得
- 開催地やリソースデータは、会津圏域となるものの、利便増進実施計画策定後といった共通の状況下にある県内の多くの自治体職員にとって有益な内容であり、**県内全域で参加可能とし、県内全体の自治体職員等のスキルアップ**を図る

会津圏域公共交通活性化協議会
応募様式ア（一部修正）

県内全市町村
(クシー)、SMP協議会※、AiCT※
割に必要とされる「意識」「知識」「スキル」を する

協議会：会津SamuraiMaaSプロジェクト協議会
 I：一般社団法人AiCTコンソーシアム

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-10-10 丸の内三井ビルディング10F
TEL: 03-5561-3111 FAX: 03-5561-3112
E-MAIL: info@ai-ct.com www.ai-ct.com

12月	1月	2月	3月
ネットワークの開催 事業①・②の とりまとめ ワークショップ形式で、公共交通データの収集方法・ 用法について実践的スキルを習得する。 データとViaデマンド交通データを連携させた、バス路 線有効率化などのシミュレーションを実施する。 デマンド交通の運行状況を可視化し、実際のデータを 善策や施策の評価方法を学ぶ。			
WS	WS	WS	WS

Year	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
Population (millions)	7.6	7.8	8.0	8.2	8.4	8.6	8.8	9.0	9.2	9.4	9.6	9.8	10.0	10.2	10.4	10.6	10.8	11.0	11.2	11.4	11.6
GDP (trillion USD)	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.0	3.3	3.6	3.9	4.2	4.5	4.8	5.1	5.4	5.7	6.0	6.3	6.6	6.9	7.2	7.5
Life expectancy (years)	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
Urban population (%)	55	58	61	64	67	70	73	76	79	82	85	88	91	94	97	100	100	100	100	100	100
Renewable energy (%)	10	12	15	18	22	26	30	34	38	42	46	50	54	58	62	66	70	74	78	82	86
CO2 emissions (Gt)	15.0	15.5	16.0	16.5	17.0	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	20.5	21.0	21.5	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0
Forest cover (%)	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
Water stress (%)	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48	51	54	57	60	63	66	69	72	75
Healthcare expenditure (USD/billion)	1.2	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.0	3.3	3.6	3.9	4.2	4.5	4.8	5.1	5.4	5.7	6.0	6.3	6.6	6.9	7.2
Education expenditure (USD/billion)	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8
Research & Development (USD/billion)	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
Unemployment (%)	5.5	5.8	6.1	6.4	6.7	7.0	7.3	7.6	7.9	8.2	8.5	8.8	9.1	9.4	9.7	10.0	10.3	10.6	10.9	11.2	11.5
Income inequality (Gini index)	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
Digital literacy (%)	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	100	100	100	100	100	100	100	100
Gender equality (index)	0.75	0.78	0.81	0.84	0.87	0.90	0.93	0.96	0.99	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
Climate resilience (index)	0.50	0.55	0.60	0.65	0.70	0.75	0.80	0.85	0.90	0.95	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
Urbanization rate (%)	55	58	61	64	67	70	73	76	79	82	85	88	91	94	97	100	100	100	100	100	100
Renewable energy share (%)	10	12	15	18	22	26	30	34	38	42	46	50	54	58	62	66	70	74	78	82	86
CO2 emissions (Gt)	15.0	15.5	16.0	16.5	17.0	17.5	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	20.5	21.0	21.5	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0

令和7年4月23日

公共交通で地域を佳くするための考え方を学ぶe-ラーニング教材 福島大学・交通事業者・デザイナーが行政職員・市民団体と開発

このたび福島大学では、国土交通省の2024年度「共創・MaaS実証プロジェクト」に採択され、持続可能な地域社会を実現するために公共交通を活かす視点やノウハウについて解説したe-ラーニング教材を外部講師（交通事業者・デザイナー）とともに開発しました。本教材は、無料公開されており、広く地域づくりに関わる方にご活用いただければ幸いです。

交通は地域の生活と経済を支える手段であり、都市や地域の改善と連携させることが重要です。地域公共交通の持続が全国的に課題となるなか、その確保・維持に施策を終始させるのではなく、持続可能な地域社会を実現するために公共交通を活かす視点やノウハウを持ち、他主体との「共創」をコーディネートすることが求められます。

本学では、国土交通省の2024年度「共創・MaaS実証プロジェクト」モビリティ人材育成事業に採択され（代表：吉田 樹 経済経営学類教授）、公共交通の外部性や、公共交通政策で課題となる問題解決技法とデザインの適用、合意形成手法とデザインの活用などを解説したe-ラーニング教材を外部講師とともに開発しました。また、教材の内容に関しては、国土交通省東北運輸局、福島県生活交通課のほか、関東や東北の自治体職員、市民団体の方々からもご意見を頂戴しました。

本教材は、無料で公開されており、公共交通を担当する行政職員の方々に限らず、都市や道路・教育・福祉などの部局、地方議員、有識者、地域金融、IT事業者、観光をはじめ広く地域づくりに関わる方にもご活用いただければ幸いです。

【e-ラーニング教材】 <https://jrmkt.com/elearning/>

※ 日本鉄道マーケティングのホームページに掲載されています

【講師陣】吉田 樹（福島大学教授）

山田 和昭 氏（元若桜鉄道社長・現日本鉄道マーケティング代表）、

井上 晃良 氏（inoue design）

北嶋 悠史 氏（GKグラフィックス）

（お問い合わせ先）

経済経営学類 教授 吉田 樹

電 話：024-548-8376

メール：e127@ipc.fukushima-u.ac.jp